

④ クロス分析の各戦略は参加者がイメージできる表現にする

クロス分析の「積極戦略」・「致命傷回避・撤退縮小戦略」・「改善戦略」・「差別化戦略」が、参加者に具体的な行動や効果としてイメージできるかどうかが重要である。

固有名詞や行動具体策に拘って表現してほしいと再三再四述べている理由は、「人は具体的にイメージできない事は行動できない」と言う本質があるからだ。周囲の幹部がいくら提言しても、経営者が「納得できていない」戦略は、まず行動に移される事はない。

イメージが湧くまで、議論を落とし込んでいくことが肝要だ。